

令和6年度 第1回 恵庭市安全で安心なまちづくり実行委員会

議事録

日時 令和6年5月27日（月） 14：00～14：45

会場 恵庭市民会館2階 大会議室

<出席者>

会 長 原田市長

委 員 山谷委員、江岸委員、鏡委員、杉若委員、谷川委員、久保委員、
田中委員、茶園委員、亀石委員、菊池委員、渡邊委員、野上委員、
信清委員、山本委員

事務局 茅野生活環境部長、小路生活環境部次長、桑原生活環境課長、
中村生活環境課主任主事、加賀谷生活環境課主査（議事録作成）

傍聴者 0名

1 開会宣言（桑原課長）

2 委嘱状の交付

任期満了に伴い、新たに委員13名に委嘱状交付

3 会長挨拶（原田市長）

令和6年度の第1回 恵庭市安全で安心なまちづくり実行委員会の開会にあたりまして、本日、お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。また、委員の皆様には、日頃から市政各般にわたって、特に「防犯」や「交通安全」の分野においてご支援とご協力をいただいていることに対しまして、改めて感謝申し上げます。

現在、令和3年度に策定しました令和3年度から令和7年度の「恵庭市安全で安心なまちづくり推進計画」に基づき、千歳警察署をはじめとする関係機関のご協力をいただきながら、犯罪や交通事故の抑止に向けた各種取組を進めている所であります。また、毎年、皆様にお集まりいただき、その年の推進方策を、そして具体的な施策を策定し実施しておりますので、皆様のご意見といただきながら本年度も策定に向け審議して参りたいと思っております。

さて、特殊詐欺についてですが、昨年、恵庭市において200万円を騙し取られる詐欺被害が1件発生しております。あくまで警察署の認知件数であり、もっと多くの特殊詐欺被害が身近でも発生しているものと思われます。

令和5年の犯罪状況についてですが、令和4年と比べ大きく減少しておりますが、恵庭市において殺人事件の発生や市民の方が殺人事件の被害者になる事件などが発生しております。

交通事故についてですが、昨年12月に交通死亡事故が発生し、交通死亡事故ゼロ日数も680日で途切れてしまいました。1月にも交通死亡事故が発生し、1名の方が亡くなっておりますが、以降、恵庭市において交通死亡事故の発生もなく、本日で交通死亡事故ゼロ日数も132日となっております。1日でも永く交通死亡事故の発生がない安全で安心なまちとなるよう関係機関と連携し取り組んで参りたいと思ひますし、500日、1,000日と交通死亡事故ゼロ日数を目指して参りたいと思ひております。

犯罪や交通事故のない安全で安心な地域社会を実現することは、市民全ての願いであり、地域の皆様と力を合わせて「防犯」や「交通安全」などの各種施策を推進するため、本日は委員の皆様から貴重なご意見をいただき、市民の皆さまと行政が一体となった、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進して参りたいと考えております。

本日はどうぞ宜しくお願いいたします。

4 委員および事務局員の自己紹介（各委員、事務局員）

5 議 事

1) 副会長の選出について（原田会長）

⇒ 皆さんから副会長の選任について、何か良い方法はありませんか？

・なし

⇒ 恵庭市安全で安心なまちづくり実行委員会設置規則第4条第2項の規定により、会長が副会長に鏡氏を指名。

2) 令和6年度推進方策及び具体的な施策について（加賀谷主査）

⇒ 資料3及び4のとおり説明

【 質 疑 】

・なし

6 その他

原田会長：

最近の恵庭の状況について恵庭交番署長からお話いただけないでしょうか。

山谷委員(恵庭交番所長)：

恵庭市内の昨年一年間の犯罪発生状況、交通事故発生状況、特殊詐欺の被害件数については、配布された資料3に詳細が載っていますので、私からはこれらの補足、更には今年の発生状況などについての話をさせていただきたいと思います。

まずは事件についてですが、昨年一年は事件の件数は前年対比では少なくなっていますが、殺人や強盗、放火などの重要犯罪（凶悪）が4件と多く発生しており、体感治安は決して良いとは言えません。本年も4月4日、10日と殺人未遂事件が連続発生していましたが、今日現在、無事に被疑者を逮捕、解決しておりますので、御安心ください。

身近な犯罪としましては、自転車盗難が相変わらず多く発生しています。その半数以上が恵庭・恵み野・島松の市内3箇所のJR駅駐輪場での被害であり、特筆する被害状況となっています。

被害の半数以上が鍵を掛けていないため、駐輪する場合は、是非、自転車本体への施錠と更にU字ロックやチェーン錠で行うシーロックをするようお願いします。

特殊詐欺の発生状況ですが、昨年一年は恵庭市で1件の被害がありました。

手口は「キャッシュカード詐欺」で80代の女性が、訪問した被疑者にキャッシュカードをすり替えられ、200万円の被害がありました。

更に本年も5月22日に報道発表がありました「オレオレ詐欺」については50歳代の女性が群馬県警を名乗る警察官から「あなたの携帯電話が不正利用され、逮捕状が出る。逮捕されないためにも現金が必要」と言われ、480万円を指定口座に振り

込み、金銭を取られています。

最近の特殊詐欺については、従来の「還付金詐欺」や「オレオレ詐欺」の発生の他、全国的に有名人の動画を流して投資すれば利益が得られるSNS型投資詐欺や恋愛感情や親近感を抱かせながら、架空の事実を口実として、交際の継続などを前提とした各種名目で金銭を騙し取るSNS型ロマンス詐欺が急増している状況にあります。

本年に入り、北海道では4月末現在「SNS型投資詐欺」は33件、6億5,805万円の被害、「SNS型ロマンス詐欺」は25件、3億7,935万円の被害があり、半年が過ぎないまでも、既に昨年の被害額を優に超えている現状となっております。

次に、交通事故関係については、恵庭市内の昨年一年間の人身事故の発生件数は77件であり前年比で21件の減、負傷者は91人で前年比17人の減であり、前年と比べると大きな減少を見せております。

しかし、皆様もご存じのように、年末の12月27日には交通死亡事故が発生し、それまで続いていた恵庭市の交通事故死ゼロの日が680日で途絶えるという残念な結果となっております。

本年に入り5月22日現在ではありますが、人身事故の発生件数は48件であり前年比で23件の増、負傷者は58件であり前年比で24人の増となっており、昨年と違い、人身事故及び負傷者の数も大きく数を増やし、現段階でも既に昨年の人身事故の発生件数、負傷者数ともに超えており、事故が多い現状に警察としても危機感を感じております。

特に昨年4月から努力義務化となった「乗車用ヘルメット」の着用は、現在まで全国で13.5%、北海道では6.4%であり、47都道府県中39位となっております。大変低い着用率であることから、その着用率を上げるべく、関係機関などにも働きかけていきたいと考えております。ちなみに1位は愛媛県で59.9%となっております。

自転車事故で亡くなられた6割の方は頭の怪我で亡くなられております。頭部を守ることは命を守ることに繋がります。自分自身及び家族の身を守るということで是非、実践していただきたいと思います。先般、春の交通安全期間中においても恵庭北高校、恵庭南高校生徒に対して自転車の安全運転指導を、警察、恵庭市交通安全運動推進委員会、恵庭市役所の三者合同で行ったところでありますが、今後も学校からの要請に基づき「自転車安全運転指導」の取組を継続していく考えであります。

これら取組と併せて、警察では制服を見せる街頭活動やパトカーによる見せるパトロールを強化して、事件・事故の防止を積極的に行って参ります。

花と緑の街、恵庭市の安全・安心して暮らせる社会の実現に向け、我々恵庭交番グループも事件・事故の抑止に向け、業務を行って参りますが、ここにお集まりの皆様におかれましても、事件、事故のない安全で安心して暮らせる社会、恵庭市の実現に向け、今後ともご協力、ご支援、宜しくお願いします。

原田会長：

ありがとうございます。

他に発言等がなければ、以上で令和6年度 第1回 安全で安心なまちづくり実行委員会を閉会いたします。

～閉 会～